



VMN-JFVSS スペシャルセミナー 2016

主催: JFVSS

共催: 株式会社ペット・ペット、MVRJ

鑑別診断から考える犬の腫瘍の診断

犬の腹腔内に発生する腫瘍の診断法のコツ

2016年 **8/11** (木・祝) 14:00～18:00

会場: 東京大学 弥生講堂



写真1 第2回 VMN-JFVSSセミナー

第7回 JFVSS便り

日頃よりJFVSSの活動にご賛同、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。今回はJFVSSの国内での活動状況についてご報告させていただきます。

VMN-JFVSSセミナー

昨年8月11日(山の日)に東京大学農学部弥生講堂におきましてVMN-JFVSS スペシャルセミナーを開催いたしました。このセミナーは東京大学を会場に何回か開催させていただいていますが当日の会場への参加の他、VMNのWebを通じてNetでも受講できるシステムを用いたセミナーになります。このため当日の会場への参加者(約100名)の他、ネット回線を通じての聴講者が(100台以上のPCに接続)と多くの皆様に参加していただきました。

当日は「鑑別診断から考える犬の腫瘍の診断」と題してナビゲーターとしてJFVSS代表理事である小林哲也先生と理事の賀川由美子先生の掛け合い漫才のような話から始まりました。ノースラボに送付された検体のうち犬の腫瘍症例の莫大なデータベースの解析から犬の腹腔内に発生する腫瘍についての傾向を明らかにするとともにそれぞれの腫瘍に関するスポットレクチャーを挟みながら進行了しました。

まずはこのデータベースについての性質を示し様々なバイアスがかかったデータであることを示したのちスポットレクチャーとして石田卓夫先生による「犬の腹腔内に発生する腫瘍の細胞診による鑑別」が講演されました。細胞診は何のために行うか、なんでも刺せば良いものではなく刺してはならない場合があることを示したのち、実際の標本の作成方法も示していただきました。そして作成した標本とその元になった画像所見や腫瘍そのものを比較して分かりやすく解説していただきました。

次に犬の脾臓に発生する腫瘍のランキングを示したのち血管肉腫の2/3の法則は正しいかという解説が示されました。また実際の脾臓の腫瘍のうち腫瘍が存在する部分はごく限られた一部しかないことも示され病理検査に提出する際の提出方法などについても解説されました。

続いて東京大学の辻本元先生によるスポットレクチャー「脾臓のリンパ腫には化学療法が必要? 脾臓マージナルゾーンリンパ腫の診断」という講演がありました。脾臓の濾胞辺縁帯リンパ腫(Spl-MZL)の特徴について病態、組織学的特徴について解説していただいたのち化学療法による生存期間の延長は認められず、脾臓摘出のみで長期生存する症例が多いことが示されました。その次には東京大学の西村亮平先生による「犬の移行上皮癌・前立腺癌に対する腫瘍マーカーの有用性」についての講演でした。

犬の膀胱移行上皮癌は今までの報告では治療法に関わらず生存期間の中央値が1年以下とされており、悪性・良性の判断に迷うことが多く、早期診断が難しいため腫瘍マーカーの発見が重要であることが考えられている。そこで犬の移行上皮癌・前立腺癌におけるBRAF遺伝子の変異の有無があることを突き止め犬膀胱移行上皮癌で67%で前立腺癌で80%に変異が認められることが示されさらに正常組織では0%、他の腫瘍では22%以下の変異しか認められないことが明らかとなった。またこの検査では尿サンプルを用いた検査で検出可能であり感度特異度ともに高いことが明らかにされた。今後尿道、膀胱、前立腺癌の腫瘍の診断法として重要な位置付けとなることが示された。

その次には私、日本大学の巨敏広が「リンパ腫以外の消化管腫瘍の診断」として主に胃、小腸、大腸における腫瘍の診断に関して臨床症状や超音波検査、CT検査ならびに内視鏡検査でどこまで診断ができるかきることについて紹介した。また、最近日本国内で多く見られるミニチュアダックスの結腸直腸腫瘍に関性度直腸腺癌および直腸腺癌がどの程度存在するかも紹介し、ミニチュアダックスの結腸直腸に存在する腫瘍は全て炎症性ポリープであるとは言えないことを改めて理解してもらいました。

最後にナビゲーターの小林先生、賀川先生から肝臓に発生する腫瘍についての特徴や発生頻度等のデータの紹介がありどのように診断を進めて行くべきなのかなどの示唆に富んだ内容の講演でした。

セミナー終了後には参加していただいている先生方に対しJFVSSの現状について認識していただくために現在2名の奨学生が米国で内科と外科のレジデントとして修行している最中であること、1年間一人当たり約500万円以上の金額が必要であることや多くのスポンサーやサポーターに支えられていることを説明し会を終了しました。

大阪企業説明会・志願者説明会

昨年は10/5に大阪市獣医師会の会議室で、10/27に東京大学農学部で次年度の志願者説明会と企業説明会を開催しました。大阪での説明会は初めてだったのですが多くの企業様や志願者の方に参加していただき説明を行いました。当日は台風の接近で開催が危ぶまれましたがコースを逸れたため、なんとか開催することができました。そのような状況ではありましたが多くの方々参加があり関西地区でもJFVSSの活動を知っていただけるきっかけになったものと思います。



写真2 大阪での企業説明会・志願者説明会
(大阪市獣医師会館にて)

たくさんの方々にお越しいただきました。



写真3 東京での企業説明会

佐藤先生、徳永先生もスカイプにて参加されました。

東京企業説明会・志願者説明会

10/27には東京大学での説明会でしたがここにも多くの志願者そして企業様の参加が得られました。従来の説明会のあと懇親会会場に移動し、コロラドとネット回線をつなげてコロラド州立大学で研修している佐藤先生と徳永先生と直接話ができるようにしました。コロラドは早朝であるにもかかわらず二人の先生は眠い目をこすりながら話をしてくれました。今回は志願者の方も多く現地の先生の状況を直接聞くことができていました。

このように日本国内においてもJFVSSの活動を様々なところで紹介し、スポンサーやサポーターの募集を行っています。この多くは獣医療に関連する人々に対するものですが昨年12月から一般の方々向けにもクラウドファンディングでの募金をスタートさせました。日本の獣医療が良い方向へ向かうように、多くの方々から理解され応援していただけるように進めて行きたいと思います。

(文責 巨敏広)

事務局 公益財団法人 日本小動物医療センター
附属日本小動物がんセンター内
メールアドレス: info@jfvss.jp
公式ウェブサイト: www.jfvss.jp

